

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は当法人各施設（矢那梅の香園・いわね潮の香園）の運営等に際しまして格別なご高配賜り心より感謝申し上げます。

一昨年の5月より「新型コロナウイルス」感染症に関する分類が5類とされ（行動制限等の制約）がなくなったところではありますが、未だ予断を許さない状況となっております。また、昨今の日本国内における「物価高」等の影響にも併せ、当法人施設（矢那梅の香園・いわね潮の香園）における、諸経費（光熱費・食材費）等々の費用負担についても、より厳しさが増している状況でもございます。ただ、私自身、そして、この瞬間も額に汗して日々の業務に向き合っている施設（矢那梅の香園・いわね潮の香園）職員は、

「Even the darkest night will end and the sun will rise.」

（フランスの詩人・小説家、ヴィクトル・ユゴーの「レ・ミゼラブル」の一説より）

というフレーズを思い返し、我々のような「介護老人福祉施設」での果たすべき「使命」と、社会の中における「梅香会（矢那梅の香園・いわね潮の香園）に期待する「役割」を再認識し、いま置かれている環境の下、法人職員一人ひとりができる範囲の中で、職員一丸となって乗り越えていく思いであります。

新年を迎え、ご家族様並びに関係者様皆様にも、このような情勢下にもより、ご負担等をお掛けする場面があろうかと思いますが、本年も昨年と同様に、「矢那梅の香園」並びに「いわね潮の香園」の運営等に際しまして、何卒、ご理解ご協力の程、併せてお願い申し上げます。

皆様にとって、より良き年となられますようご祈念申し上げさせて頂き、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

令和7年1月1日
社会福祉法人 梅香会
理事長 重城 明男